

---

**安 全 デ ー タ シ ー ト (SDS)**

---

作成 2006年 11月 6日  
最終改訂 2023年 4月 4日

**1.【化学物質等及び会社情報】**

## 製品

製品の名称 30seconds ワンステップ・スプレー・クリーナー2L  
(英名: 30seconds spray and walkaway 2Litre)

## 供給者情報

製造者 30 Seconds Ltd (ニュージーランド)  
輸入者 アルタン株式会社  
住所 東京都大田区東糀谷3-11-10  
マーケティング室 開発企画課  
電話番号 03-3743-5705  
FAX番号 03-3743-5706  
緊急連絡先 同上

**2.【危険有害性の要約】**

## GHS分類

## 健康に対する有害性

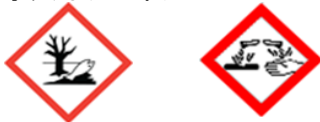
皮膚刺激性 区分1B  
重篤な眼の損傷性 区分1

## 環境に対する有害性

水性環境有害性 短期(急性) 区分1

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、  
上記以外の項目は、現時点で「分類できない」又は「区分に該当しない」である。

## 絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

## 危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
重篤な眼の損傷  
水生生物に強い毒性

## 注意書き

医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。  
子供の手の届かないところに置くこと。  
使用前にラベルをよく読むこと。

## 【安全対策】

ミスト/スプレーを吸入しないこと。  
取扱後は手を良く洗うこと。  
環境への放出を避けること。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

## 【救急処置】

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。  
皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。ただちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 ただちに医師に連絡すること。

## 【保管】

施設して保管すること。

## 【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 国/地域情報

国内法で規定のある場合、並びに、地域で規定のある場合はその規定に従う。

## 3.【組成・成分情報】

単一製品・混合物の区別 混合物  
 成分及び含有量

化学名	含有量(wt%)	CAS No.	化審法番号	労働安全衛生法	PRTR法
アルキルジメチルベンジル アンモニウムクロライド (塩化ベンザルコニウム) ※アルキル基の炭素数: 12~16	9.9%	68424-85-1	(3)-2694	通知対象外物質	該当
水	>80%	-	-	通知対象外物質	非該当
危険有害性に該当しない その他の成分	非公開	-	-	通知対象外物質	非該当

## 4.【応急処置】

目に入った場合 水で15分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。ただちに医師に連絡すること。

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。ただちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

## 5.【火災時の措置】

消火剤 粉末消火器、泡消火器、噴霧消化装置  
 使ってはならない消火剤 棒状放水

特有の危険有害性 燃焼時の熱分解により、有毒な蒸気やガスが発生する可能性がある。  
 消化を行う者の保護 自給式呼吸器、安全ブーツ、耐火服、耐火手袋、耐火帽、耐火メガネ

## 6.【漏出時の措置】

少量の場合  
 作業の際には皮膚、眼、呼吸器を保護する適切な保護具を着用すること。  
 乾燥砂、土などに含ませて回収する。

大量の場合  
 排水溝、下水溝、水流への流入を防ぐ(流入が起きてしまった場合、直ちに自治体に通報する)。  
 吸収剤(土、砂、その他の不活性物質)を使用する。火災や環境上の問題を引き起こす可能性があるため、こぼれた液の清掃に雑巾は推奨しない。  
 適切なラベルが貼られた容器またはドラム缶に回収して密封し、廃棄する。  
 モップで拭き取り、回収可能な物質をラベル付きの容器に集めて、リサイクルまたは引き取りに出す。  
 容器は可能な限りリサイクルする。廃棄する場合は、国や自治体の規則に従うこと。

## 7.【取り扱い及び保管上の注意】

取扱い 適切な保護具を着用すること。  
 使用前にラベルを読むこと。  
 使用前にSDSを読むこと。  
 取扱い後は手を洗うこと  
 眼との接触を避けること。  
 蒸気、ミスト、スプレーの吸入を避けること。  
 使用中は飲食、喫煙を避けること。

保管 幼児の手の届かない所に置くこと。  
保管中の漏れや流出に気を付けること。  
保管時は他の容器に移さず、涼しい場所に置くこと。

#### 8.【暴露防止及び保護措置】

設備対策 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。  
取り扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。

保護具  
目の保護 保護メガネまたはゴーグルを着用する。コンタクトレンズの着用は避ける。  
皮膚・身体の保護 ゴム手袋・安全靴・保護衣を着用する。  
使用後、食事をとる場合は保護具を脱ぎ、手の洗浄をすること。  
呼吸器の保護 必要に応じて適切な保護具を着用する。

#### 9.【物理的及び化学的性質】

状態	液体
色調	無色～青白色透明
臭気	特有の芳香
pH	7～9
溶解度	水に可溶
沸点	100°C
蒸気密度	データなし
融点	データなし
比重	1(15.5°C)
蒸気圧	データなし
その他	-

#### 10.【安定性及び反応性】

安定性 通常の保管状態においては安定である。  
避けるべき条件 容器を開放したまま放置するのは避けること。  
極端な高温や裸火  
可燃性物質の近くでの保管

混触危険物質 酸化性物質  
危険有害な分解生成物 有毒な有機化合物のガス・蒸気、アミン、CO<sub>x</sub>、窒素塩化物、塩化水素

#### 11.【有害性情報】

製品としてのデータはないため、原料からの推定データを記載する。

急性毒性 /経口 原料の加算式判定により区分に該当しないとした。  
/経皮 原料の加算式判定により区分に該当しないとした。  
/吸入 データ不足のため分類できない。

皮膚刺激性 原料のカットオフ値判定により区分1Bとした。  
重篤な眼の損傷性 原料のカットオフ値判定により区分1とした。  
呼吸器感作性または皮膚感作性 データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性 データ不足のため分類できない。  
発がん性 データ不足のため分類できない。  
生殖毒性 データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) データ不足のため分類できない。  
特定標的臓器毒性(反復ばく露) データ不足のため分類できない。

#### 12.【環境影響情報】

製品としてのデータはないため、原料からの推定データを記載する。

水性環境有害性 /急性 原料のカットオフ判定により区分1とした。  
/慢性 データ不足のため分類できない。

生体蓄積性 生体蓄積性はないと推測される。  
分解性 容易に分解されると推測される。  
土壌中の移動性 データなし

#### 13.【廃棄上の注意】

容器を廃棄する際にはよく水で洗うこと。  
関連法規並びに地方自治体などの基準に従って適切な処分を行なうこと。

---

**14.【輸送上の注意】**

この製品は以下の規制において危険品に分類される。

- ・IDMG
- ・IATA

国連番号	1760
国連分類	クラス8.9
品名	CORROSIVE LIQUID, N.O.S (Benzalkonium chloride) MARINE POLLUTANT
容器等級	II
海洋汚染物質	該当

---

**15.【適用法令】**

化学物質排出把握管理促進法	該当
化審法	非該当
船舶安全法	該当

---

**16.【その他の情報】**

記載内容の問い合わせ先  
アルタン株式会社  
住所 東京都大田区東糀谷3-11-10  
担当部門 マーケティング室  
電話番号 03-3743-5705  
FAX番号 03-3743-5706

---

**改訂履歴**

作成	2006年	11月	6日
改訂	2011年	12月	14日
改訂	2016年	3月	24日
改訂	2020年	3月	4日
改訂	2021年	12月	10日
改訂	2022年	4月	8日
最終改訂	2023年	4月	4日

**注意**

- ・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
- ・注意事項は通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合には、新たな用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
- ・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。
- ・ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。